

2022年8月4日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「最優秀運用会社(日本)」など3部門で受賞

～ アジア金融専門誌「The Asset」が選出、グローバルな運用会社としての強みが高い評価に～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、アジアの有力金融専門誌「The Asset」主催の「トリプル A アワード 2022」において、「最優秀運用会社(日本)(Asset Management Company of the Year, Japan)」、「最優秀 ETF 運用会社(日本)(Best ETF Provider, Japan)」ならびに「最優秀 ETF 運用会社(シンガポール)(Best ETF Provider, Singapore)」を受賞しました。2021年(暦年)を評価期間とし、運用する商品の企画力や運用パフォーマンス、投資啓蒙活動や業界リーダーシップなどのさまざまな観点から総合的に評価され、選出されました。The Asset主催の「トリプル A アワード」の受賞は、2017年以来、4度目となります。

日興アセットが「最優秀運用会社(日本)」に選ばれたのは、今回が初めてとなります。この部門は、機関投資家や個人投資家のニーズに合わせたサービス提供力や、運用パフォーマンス、革新性、ESG インテグレーションなどの要素によって評価されます。

今回の「最優秀運用会社」の受賞の背景の一つに、東京、シンガポール、香港、エジンバラ、ロンドン、ニューヨークおよびオークランドの各拠点の運用チームとの連携のもと、国内および海外のお客さまの幅広いニーズに応えていることが挙げられます。また、コーポレートサステナビリティ分野において、2030年までに海外拠点を含む日興アセットグループ全体における女性管理職比率を30%以上とする目標を設定し、また「環境方針」を刷新したこと、情報提供において、機関投資家および金融機関向けの研修やセミナーを積極的に展開したほか、日本の個人投資家向けの公式ウェブサイトをリニューアルしたことも評価につながりました。

ETF(上場投資信託)部門では、「最優秀 ETF 運用会社(日本)」ならびに「最優秀 ETF 運用会社(シンガポール)」を受賞しました。同部門は運用会社のETFビジネスの規模や商品ならびにサービス、そしてリーダーシップ、パフォーマンス、パートナーシップ締結、顧客向けエンゲージメントや他の新規の活動を評価するものです。「最優秀 ETF 運用会社(日本)」は今回で3年連続の受賞、「最優秀 ETF 運用会社(シンガポール)」は今回が初の受賞となります。

日興アセットの日本におけるETF運用資産残高は、2021年12月31日時点で前年比13.1%増となりました。本評価期間中には、日本とシンガポールのETFチームが連携し、シンガポール籍のETFを日本の投資家に提供可能にし、さらに日本の販売会社とプロモーションを展開するなど、グローバルな資産運用会社としての強みを発揮しました。

またシンガポール籍の ETF 運用資産残高は 2021 年 12 月 31 日時点で前年比で約 11%増となりました。シンガポールの ETF チームは、上記の日本との連携に加え、日興アセット初となる韓国でのシンガポール籍 ETF の届出や、MSCI との提携によりカスタマイズした指数に連動する ETF を組成しました¹。また、シンガポールに ETF 専門の営業チームを新設し、ETF に関する投資家向けセミナーを 60 回以上実施しました。

日興アセットは今回の受賞を励みとして、運用成績の更なる向上と競争力のある商品・サービスの提供に努めてまいります。

以上

「The Asset Triple A Awards (トリプル A アワード)」について

アジアの有力金融情報誌「The Asset」誌により選出される「トリプル A アワード」は、金融業界のさまざまな分野で優れた実績を誇る企業を表彰するものです。当アワードは、20 年以上の実績があり、「The Asset」誌の編集委員会が厳しい評価基準や調査機関により提供されたデータ分析に基づき審査し、企業の取り組みを総合的に評価し、選出しています。

「The Asset」誌の詳細については、同誌のウェブサイトをご確認ください。(英文)

<https://www.theasset.com/awards-single/asset-servicing-investor-fund-management>

¹ 同 ETF は評価期間後、シンガポールで上場しました。

■リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 上限 3.85%(税抜 3.5%)

換金手数料 上限 1.1%(税抜 1.0%)

信託財産留保額 上限 0.6%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬(年率) 上限 2.339%(税抜 2.24%)

一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■その他留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが弊社の運用する投資信託についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託をお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

日興アセットマネジメントは 60 年を超える実績を誇ります。約 25 の国・地域から集まる人材は多様性に富み、約 200 名*の運用プロフェッショナルが約 29.5 兆円**の資産を運用しています。世界 11 カ国・地域***において事業を展開し、グローバルな視点を活かしてお客様のニーズにお応えする様々な商品を開発するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計 400 社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2022 年 3 月末現在のデータ。

*** 日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および関連会社を含む。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会